

平成29年度

坂井市立三国病院改革プラン評価書

平成31年3月

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会

評価書

【新改革プランP12～P14 数値目標、収支計画、具体的取り組みの評価】

◆ はじめに

- ・坂井市立三国病院改革プラン評価委員会は、坂井市立三国病院改革プラン(以下「改革プラン」という。)の点検・評価を実施した。

＜評価委員の主な意見＞

- ・総務省の新ガイドラインに基づき作成された「新改革プラン」の目標値である病床稼働率70%以上、経常収支比率100%以上等をプランの期限内である平成32年度までに達成できるよう鋭意努力すること。
- ・地域の中核病院として、救急、周産期医療、小児科、人工透析などの診療科を継続し、市民が安心して暮らし、子供を産み育てるための社会インフラとしての役割を担いつつ、高齢化に伴う回復期病床（地域包括ケア病床）の需要に的確に対応すること。

- ・評価にあたっては、改革プランに掲げる項目の数値目標について、坂井市立三国病院が行った自己評価を基礎として次の4段階評価基準による評価を行った。

<評価説明>

評 価	評価の基準	
◎	計画、目標数値を大きく上回った	(+10%超)
○	計画、目標数値をほぼ達成した	(+10%まで)
△	計画、目標数値をやや下回った	(-10%まで)
×	計画、目標数値を大きく下回った	(-10%超)

<評価>

・経営の効率化

【新改革プランP12 1. 経営指標に係る数値目標】

- ・○が8項目、△が4項目、×が2項目となった。
病床稼働率、一日平均入院患者数、医師数等の目標が達成されたことにより、経常収支比率、医業収支比率等もあと少しで達成できる見通しとなった。
ただし、職員給与費等の経費の増により、現金保有残高、経常損益は目標達成には厳しい状況となった。

【新改革プランP14 4. 平成32年度までの収支計画】

- ・○が4項目、△が2項目となった。
医業収益等の目標が達成されたことにより収益は改善することができた。しかし、一方で、給与費等の増により医業費用は増加し、純損益は増加した。

【新改革プランP13 3. 目標達成に向けた具体的な取り組み】

- ・○が5項目となった。
民間会社への委託支援もあり、地域包括ケア病床を導入した。
また、経営コンサルタントの委託、医事専門員の委託、医療機器関係の委託を行い、経営改善を図った。

経営の効率化

【新改革プランP12 1. 経営指標に係る数値目標の設定】

項目	H29		達成率	評価
	目標値	実績値		
① 収支改善に関するもの				
經常収支比率	96.0	93.3	97.2%	△
医業収支比率	82.2	81.0	98.5%	△
② 経費節減に関するもの				
職員給与費比率	61.6	67.4	91.4%	△
薬剤費比率	8.2	8.5	96.5%	△
経費比率	29.5	27.6	106.9%	○
③ 収入確保に関するもの				
一日平均入院患者数（人）	58.0	59.5	102.6%	○
一日平均外来患者数（人）	270.0	270.0	100.0%	○
病床稼働率（%）	60.0	60.3	100.5%	○
医師1人一日平均入院患者数（%）	4.6	4.7	102.2%	○
看護師1人一日平均入院患者数（%）	0.7	0.7	100.0%	○
④ 経営の安定に関するもの				
医師数（人）	11	11	100.0%	○
看護師数（人）	55	58	105.5%	○
現金保有残高（百万円）	50	40	80.0%	×
經常損益（百万円）	△ 75	△ 134	56.0%	×

【新改革プランP14 4. 平成32年度までの収支計画】

【単位：百万円】

項 目	H 2 9		評価	備考
	計 画	実績値		
〔収益的収支の主なもの〕				
医業収益 a	1,460	1,736	○	一般会計 補助金1億 5千万円減
医業外収益 b	340	145		
経常収益 a+b (A)	1,800	1,881		
医業費用 c	1,777	1,901	△	給与費等 の増による
医業外費用 e	98	115		
経常費用 c+e (B)	1,875	2,016		
経常損益 (A)-(B) (c)	△ 75	△ 135	△	
特別損益 (e)	5	5		
純損益 (c)+(e)	△ 80	△ 140		
累積欠損金	△ 2,480	△ 2,438		
〔資本的収支の主なもの〕				
企業債 a	100	90	○	
他会計出資金 b	125	122		
収入計 a+b (A)	225	212		
建設改良費 c	100	93		
企業債償還金 d	223	209		
支出計 c+d (B)	223	302		
不足額 (A)-(B)	△ 98	△ 93		
補填財源 (損益勘定内部留保資金)	△ 98	△ 93	○	
〔上記計画に含まれる一般会計補助金の総額〕				
一般会計補助金	500	500	○	
うち基準内	420	420		
うち基準外	80	80		

【新改革プランP13 3. 目標達成に向けた具体的な取り組み】

目 標	実 績	評価
(1) 民間的経営手法の導入		
・ 経営コンサルタント導入に伴う経営指導などによる財務の改善	・ 新改革プランの策定支援を委託した有限責任監査法人トーマツに経営コンサルタント業務を委託した。	○
・ 地域包括ケア病床導入支援サポート業務委託などによる早期導入の実現	・ エムスリーキャリア株式会社へ支援を委託し、平成29年7月に地域包括ケア病床を導入した。	○
・ 医事専門員による診療報酬のチェックなどの医事業務の改善	・ エムスリーキャリア株式会社へ支援を委託し、平成29年度に現役医事課長に診療報酬のチェックを委託した結果、特に問題は無かった。	○
(2) 経費削減・抑制対策		
・ 多くの部門が民間に委託されており、さらなる民間委託は困難であるが、新規の医療機器導入などについてはコスト計算したうえで検討を行う。	・ 専門性の高い医療機器にかかる保守 ・ 点検・管理・修理業務、また、新規購入にかかる業務を株式会社チェーンマネジメントへ委託し、医療機器にかかる経費の節減に努めた。	○
(3) 収入増加・確保対策		
・ 地域包括ケア病床の導入、地域医療連携の強化などにより、入院患者の増加を図る。なお、診療報酬における加算を確保できるよう努める。	・ 平成29年7月の地域包括ケア病床の導入にあわせて、地域医療連携室の職員を3人から5人へ2人増加し、地域医療連携による入院患者の獲得に努めた。 また、地域包括ケア病床の導入にあわせて退院支援などの診療報酬の加算の獲得に努めた。	○

・診療科別収益状況(入院) <消費税込>

【単位：人、千円】

診療科	年度	28年度決算(A)		29年度決算(B)		増減【(B)-(A)】	
		延べ患者数	入院収益	延べ患者数	入院収益	延べ患者数	入院収益
内科		10,193	304,720	13,189	432,692	2,996	127,972
外科		2,562	100,636	1,854	81,786	△ 708	△ 18,850
小児科		766	25,376	545	17,149	△ 221	△ 8,227
産婦人科		1,365	73,187	1,212	71,706	△ 153	△ 1,481
整形外科		3,945	121,414	4,598	148,976	653	27,562
脳神経外科		0	0	0		0	0
眼科		325	30,372	311	28,317	△ 14	△ 2,055
泌尿器科		0	0	0		0	0
合計		19,156	655,705	21,709	780,626	2,553	124,921

※ 延べ患者数は在院患者数を指す。

・診療科別収益状況(外来) <消費税込>

【単位：人、千円】

診療科	年度	28年度決算(A)		29年度決算(B)		増減【(B)-(A)】	
		延べ患者数	外来収益	延べ患者数	外来収益	延べ患者数	外来収益
内科		25,463	222,848	26,043	237,527	580	14,679
透析内科		3,976	112,826	4,425	129,003	449	16,177
外科		4,016	31,344	3,111	28,499	△ 905	△ 2,845
小児科		11,741	44,646	10,652	39,989	△ 1,089	△ 4,657
産婦人科		6,369	32,513	6,375	32,197	6	△ 316
整形外科		10,380	71,070	10,320	67,410	△ 60	△ 3,660
脳神経外科		1,469	10,244	1,372	9,836	△ 97	△ 408
眼科		5,778	28,502	5,804	29,276	26	774
耳鼻咽喉科		4,940	20,517	5,235	22,605	295	2,088
皮膚科		2,981	8,084	3,569	10,400	588	2,316
泌尿器科		1,797	13,828	1,672	12,750	△ 125	△ 1,078
合計		78,910	596,422	78,578	619,492	△ 332	23,070

・平成26～29年度の損益状況
(減価償却費・繰延勘定償却を含む) <消費税抜>

(単位：千円)

項 目	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (実績)	平成29年度 (実績)	対前年度 比較
医業収益	1,547,793	1,496,455	1,390,941	1,735,815	344,874
入院収益	767,529	761,958	652,842	777,450	124,608
外来収益	627,751	610,611	594,714	618,163	23,449
その他医業収益	152,513	123,886	143,385	340,202	196,817
(うち一般会計負担金)	77,376	50,737	60,956	67,418	6,462
医業外収益	214,566	340,446	477,784	145,200	△ 332,584
(うち一般会計負担金)	203,402	324,614	449,690	113,879	△ 335,811
経常収益(医業収益+医業外収益)	1,762,359	1,836,901	1,868,725	1,881,015	12,290
医業費用	1,807,109	1,803,039	1,810,379	1,900,708	90,329
給与費	884,648	914,057	1,051,024	1,122,288	71,264
材料費	275,702	274,334	252,775	247,684	△ 5,091
(うち薬品費)	131,777	124,144	125,984	131,092	5,108
経費	456,774	432,183	316,053	340,686	24,633
減価償却費	183,990	177,939	186,542	185,577	△ 965
その他医業費用	5,995	4,526	3,985	4,473	488
医業外費用	102,011	97,797	113,873	114,765	892
支払利息	57,747	55,595	53,099	50,674	△ 2,425
繰延勘定償却	0	0	0	0	0
その他医業外費用	44,264	42,202	60,774	64,091	3,317
経常費用(医業費用+医業外費用)	1,909,120	1,900,836	1,924,252	2,015,473	91,221
経常損益	△ 146,761	△ 63,935	△ 55,527	△ 134,458	△ 78,931
特別利益	10,701				0
特別損失	81,418	2,717	1,131	5,671	4,540
純損益	△ 217,478	△ 66,652	△ 56,658	△ 140,129	△ 83,471

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会 委員名簿

区 分	氏 名	所 属 団 体 ・ 役 職 名 等
委員長	渡 辺 竜 彦	坂井市議会 教育民生常任委員会 委員長
委 員	佐々木 次 壽	坂井地区医師会 三国ブロック代表
〃	田 邊 美知子	三国地区市民代表
〃	飴 嶋 慎 吾	坂井市立三国病院長

坂井市立三国病院改革プラン評価委員会 開催経過

開 催 日	議 題
平成31年3月15日（金）	委員長の選出 平成29年度改革プランの点検・評価について